

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 浅間エンジニアリング株式会社 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																									
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			男女ともに家事、育児、介護などに取り組み、家庭生活も楽しめるよう、休業制度と従業員のスケジュールに合わせた有給休暇の取得を推奨しています。男女問わず、自身の能力を活かせる部署で活躍できるよう、					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			就業規則に「ハラスメント防止規定」がある。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			労働時間を管理し、過剰労働にならないようにしております。また、代休の取得や家族のイベントへ積極的に参加できるよう、有給休暇の取得を推奨しております。								8.5 8.8											
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)	【非該当】		技能に問題ない場合は採用していますが、現在、外国人労働者の採用はありません。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3									
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			教育の一環として、出張先での安全衛生研修会開催のため、該当作業員に「全豊田安全衛生研究会」開催の職長・安全責任者講習を受けさせている。また、学んだことを各職場の改善活動に活かし、全社員参加の社内改善大会で報告している。			3					8											
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			定期的な面接を行っている。			3																
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			男女ともに家事、育児、介護などに取り組み、家庭生活も楽しめるよう、従業員のスケジュールに合わせた有給休暇の取得を推奨しています。男女問わず、自身の能力を活かせる部署で活躍できるよう、部署の配置を考慮しています。自社、他社問わず、技術ある高齢者を					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
8	環境	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			外部講師を招くなどして、社員教育を行っている。				4	5.5			8	9										
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3									
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			全社員を対象とした年一度の健康診断と健康指導を実施し、生産性の向上に取り組んでいる。			3					8											
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			産業廃棄物の分別などして、適切な処理に取り組んでいる。											11.6	12		14.1					
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			把握している。								7.3					13							
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			長野県温暖化対策計画を提出し、抑制に力を入れている。具体例は、3点。1.蛍光灯を全点LEDライトへ変更。2.窓や室外機へサンシェードなどで日光を当たらないようにする。3.空調機の取付け位置、角度の調整								7.2 7.3				12.4	13.3							
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			危険物取扱者甲種を持っている者が把握し、適切な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4								

目 番 号	テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）	【非該当】		工業廃水などがないため、該当しない。						6.6								15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			「アサメカDr」事業において、他社で製造されたメカニクスの担い手がない専用機であっても、方が一故障した場合には、すぐに廃棄することなく、最小限の資源利用で継続利用できるようにサポートしている。「アサメカDr」の修理・メンテナンス・改造・新規製造										13		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）	【非該当】		トイレや手洗い以外で水資源を使うことがない。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）			今後行うか検討している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			今度開示するか検討している。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			太陽光パネルを検討中。							7.2						13				
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）	【非該当】		天然資源を使うような事業活動がない。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			周知している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			「パートナーシップ宣言」を行い、不正競争行為に関与しない方針を固めている。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			今後検討していく。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			外部に流出しないよう、取り扱いに気を付けている。																	16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）			紛争鉱物を取り扱わない事業である。																	16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			「パートナーシップ宣言」を行い、関係企業様と良好な関係を行うように務めている。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表し、ホームページにリンクを載せている。			3					8	9	10							17

項目 番号	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (果などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			弊社が製造する装置の安全性をチェックし、出荷している。社内のオリジナルルールに従う場合と客先ルールに従う2パターンがある。社内ルールに関しては、都度見直しを行い、必要であれば改定をおこなっている。			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			2018年に「ISO9001(品質マネジメントシステム):2015」を取得し、毎年改善活動を行いながら品質の工場を目指している。									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			客先から要望され、弊社で製造する設備は環境に配慮しているものである。						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			「自動機製造」事業で、専用機や生産ラインの自動化に貢献し、少子高齢化社会で人手不足の解消に役立っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			「アサメカDr」事業において、地域の製造業に対し、専用機を修理・オーバーホール・メンテナンス・改造・再現製造することで、新規で機械を買うよりもコスト面で助け、事業の継続に役立てていただいている。				4				9			11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			地域への寄付や、ボランティア団体に参加することによる社会貢献活動を積極的に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外販）している	チャレンジ (任意)	【非該当】		自動機を製造する業種なので、地消地産、地産外販は行っておりません。								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			「産業開発により社会に貢献する」を社内で共有し、経営理念としている。「年度初めの挨拶」で経営目標を社内へ公表している。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			社労士の方と現状の法律・法令にあう就業規則を作成しております。各部門の部門長が統制し、就業規則遵守を徹底しております。																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			環境対策・温暖化対策の担当者の計画をもとに、長野県温暖化対策計画書を提出しております。																	16
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			客先への聴取を行い、自社の活動が及ぼす影響を把握している。																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			専用機の組立工程におけるケガや事故の危険を作業当日の朝、全作業員が「作業手順RKY(リスクアセスメント危険予知)」をもとに確認し、作業を行っている。																	16
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			主要顧客とともにCSRの考えに基づいた企業活動を実施し、責任を持った対応に取り組んでいる。																	16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			事業継続計画・BCPを作成し、防災訓練を実施することで、災害などの不測の事態にも対応できるようにしている。								9			11		13 13.1				16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)		【予定】	専務取締役が事業承継をする予定。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定